

949. Riemann 面ノ型ニ就テ

吉田 徳之助 (海軍機関學校)

有限個ノ Grundpunkt 上デ、ミ分岐シ、ソレ等ガ
 スミテ幾數的デアアルヤウナ Riemann 面ノ型ニツイテ考ヘ
 マシク。コノ種ノ Riemann 面ノ型ハソノ Verzwei-
 gungsstärke 知レカラ判定シ得マセシ。構造上更ニ本
 質的ナル性質ヲ必要トスルノデス。ソレガ何デアアルカ小林先
 生ハ或ル特定ノ條件ヲ満足スルモノニツイテハ Hevankinna
 ノ級數ノ収斂性ガ完全ナル型ノ判定條件タリ得ルコトヲ述ベ
 テキラレマス。コレニ關係シテニ述ベタイト思ヒマス。

Riemann 面 W ノ位相樹木 T ノ n 次節点ノ個數ヲ

$$\mu(n), \sigma(n) = \sum_{k=1}^n \mu(k) \text{ トスル。先ツ } W \text{ ヲ角谷氏ノ方法}$$

= 維ツテ面 Σ = 寫像スル。 Σ ハ $\zeta (= \xi + i\eta)$ 平面ノ第一
 象限上ニアルモノトシ、コレヲ直線 $L_n: \xi + \eta = n$ ($n = 1,$
 $2, \dots$) = 沿ツテ切断スル。

L_n ト L_{n+1} トノ間ニアル Σ ノ部分 Ω_n ハ有限個ノ
 梯形及ビ三角形ガツナゲツテ出来テキテソノ内周ノ長サハ
 $2\sqrt{2}\sigma(n)$ 、外周ノ長サハ $2\sqrt{2}\sigma(n+1)$ テイル。 Ω_n ノ
 梯形及ビ三角形ヲソノ外周ニアル辺ガ $\frac{\sigma(n)}{\sigma(n+1)}$ 倍ニ縮小スル
 ヤウニ変換スル。

コノ変換ニテ Dilatations-quotient ノ常數ヲ除
 キ $\left(\frac{n\mu(n)}{\sigma(n)}\right)^2$ 以下トナル。コノニ新シク出来タ梯形及ビ三

角形を必要ならば *relative displacement* を行つて
 毛トノ順ニツナギ合セルトキ長サの (n) 幅ノナル矩形ヲ得ル。
relative displacement 1 際, *dilatations-quotient*
 ハ有界デアラトスル。コノ場合 *Riemann* 面
 W ハ殆ンド対称ニ合致スルトイフ。コノ条件ハ *almost*
homogeneous トイフ条件ヨリ幾分強い条件デアアル。コ
 ノニ得ル矩形ヲ例ニヨツテ $\frac{1}{\sigma(n)}$ = 縮小シ n ノ順ニ並べて
Teichmüller ノ議論ヲ用ヒレバ

$$\text{級数 } \sum \left\{ 1 + \left(\frac{n\mu(n)}{\sigma(n)} \right)^2 \right\} \frac{1}{\sigma(n)} \text{ が収斂スレバ } W \text{ ハ双曲}$$

的デアアル。

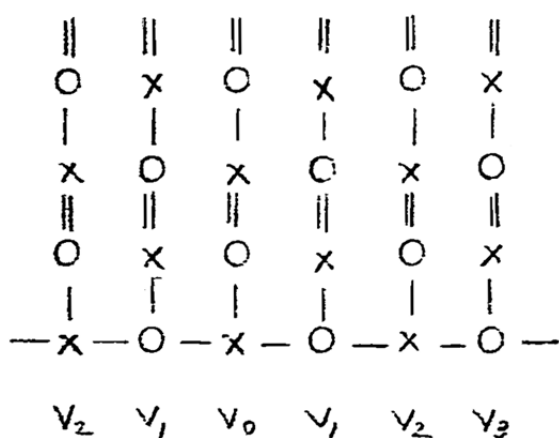
ト言ヒ得ル。従つて *Hevanlinna* ノ定理ト合セテ

$$\frac{n\mu(n)}{\sigma(n)} \text{ が有界デ且ツ殆ンド対称ニ合致スル } Riemann$$

面ガ拋物的デアアルタメノ必要且ツ十分ナル条件ハ *Hevan-*

$$linna \text{ ノ級数 } \sum \frac{1}{n\mu(n)} \text{ が発散スルコトデアアル。}$$

ト言ヒ得ル。



圖, 如キ位相樹木ヲモツ

Riemann 面ハ *almost*

homogeneous デ, コレ

= 對シテ *Hevanlinna*

ノ級数ハ 收斂スルガ殆ンド

對称デアハ + 1. 一般ニ位相

樹木 T ガコレト位相的ニ合同ナル *Riemann* 面 W ヲ考ヘル。

T ノ一枝点 V_0 ヨリコレニ續ク枝点ヲ順次 V_1, V_2, V_3, \dots

ト名付ケル。相隣レシ $\sqrt{n-1}$ ト \sqrt{n} トノ距離ノ大キイ方ヲ $\varphi(n)$,
 $\psi(n) = \max(\varphi(1), \varphi(2), \dots, \varphi(n))$ トスルトキ

級数 $\sum \frac{1}{n\psi(n)}$ ガ発散スルトキ Riemann 面ハ拋物

的デアール。

コトガ証明出来ル。従ツテコノ種ノ Riemann 面ニ於テ
ハ Weierstrass ノ定理ガ限度ヲ示スモノデアナイ。

() コノ種ノ Riemann 面ハスベテ拋物的デアールナ
ラウカトハ曾テ小林先生カラ提出サレタ問題ニス。未ダ完全
ニハ解ケマセン。上ノ証明ハ省略シマシタ。